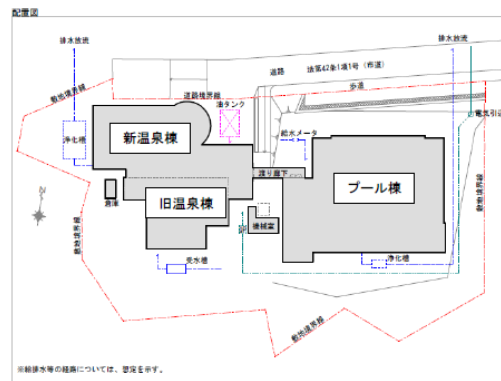


「浅茂川温泉静の里」について

1 施設の概要

施設名	プール棟	旧温泉棟	新温泉棟
施工年度	昭和56年	昭和59年3月	平成10年12月
建物構造・規模	RC造・一部S造	RC造	RC造
階層	地上1階	地下1階、地上2階	地下1階、地上2階
延床面積	1,224.53㎡	467.6㎡	1,760.91㎡



【施設の状況】

- 施設の老朽化が著しく、5年間（H30～R4）で42,794千円の修繕を実施。現状、新温泉棟天井漏水、プールエアコン不調、プール屋上シート劣化等の不具合がある。
- 泉源湧出量：供用開始時（平成7年）270ℓ/min、令和元年度時56ℓ/min（79%減）
- 利用者：平成15年度（ピーク時）201,953人（うちプール45,199人）
令和4年度54,379人（うちプール14,842人）※対比73.1%減
- 指定管理料：令和4年度35,410千円

2 施設の現況

○施設改修等の調査業務の結果（令和3年度実施）

新旧温泉棟、プール棟とも、『躯体』は現状稼働可能。『設備類』は、全面的な改修が必要。プール棟は「新耐震工事」も必要。改修の概算費用は、次のとおり。

- ① 原状復帰の改修 23.0億円 ② 解体のみ 5.7億円
- ③ 解体＋同規模施設新設 26.8億円 ④ 解体＋温泉のみ新築 21.7億円
- ⑤ 解体＋プールのみ新築 11.9億円

【調査結果】

	プール棟（築43年）	旧温泉棟（築40年）	新温泉棟（築26年）
構造体	築80年以上 （残年数：37年）	築65年未満 （残年数：25年）	築65年未満 （残年数：39年）
耐震	旧耐震	新耐震	新耐震
仕上	C	B	B
外壁	B	B	B
設備	D	D	D

【評価基準】

- ・構造体は、鉄筋腐食度、コンクリート圧縮強度、中性化深さ、目視調査にて評価
- ・仕上材・設備関連調査
劣化状況において、目視、打診、聴診、動作確認、赤外線調査等により判断
- A：修繕及び更新の必要性は低く、日常の維持保全で管理。（10年以内対応要）
- B：早期修繕等の必要性は低いが、維持管理の中で、経過観察が必要。（5年以内対応要）
- C：現時点で事故等につながらないが、利用し続けるためには、早期修繕の必要性が高い。（3年以内対応要）
- D：安全上、構造上問題があり、早期に対応する必要がある。

3 検討の経過と今後の予定

(1) 市の検討結果（令和3～5年度）

- ① 原状復帰の工事費は多額であることや、市内に7つの外湯温泉があることなどから、行政が現状の規模の施設の継続・維持することは困難であるため、「規模縮小」、「用途変更」、「廃止」等のあらゆる方向性について再検討をする。
- ② 用途変更及び廃止の検討に当たっては、第4次観光振興計画や高速延伸に係る休憩所整備の調査結果を踏まえることとする。

(2) 京丹後市議会の議決結果（令和5年12月定例会）

令和5年度末で終了する浅茂川温泉静の里の指定管理期間を令和7年度末まで延長する議案を上程。 →「令和6年度末まで1年間のみ延長」と修正可決。

(3) 今後の予定

- ① 2月～8月 全体会議及び検討部会で方向性を検討
(会議、視察、パブコメ、関係者ヒアリング等を経て検討)



- 市への「提言書」としてとりまとめ
- ② 9月 市議会へ提言書の内容を報告
 - ③ 10～3月 方向性に沿った各種調整・予算編成等
 - ④ 3月末 浅茂川温泉静の里指定管理運営終了
 - ⑤ 4月以降 方向性に沿って事業推進